

◆まちづくり地域優良事例集◆

清水まちづくりセンター

鯉のぼり集中展張



〈取り組みの内容〉

城北3町内自治会の初夏行事「鯉のぼり集中展張」は、4月中旬～5月中旬の1ヵ月間、水の科学館西側の坪井川河川敷で行われます。展張り作業には城北3町内自治会（八景水谷町内会）の役員など約20名が参加。長さ8メートルほどの支柱となる青竹3本を運び込み、それを建ててロープを渡し、住民から寄せられた最大50個の鯉のぼりが舞い上がります。14回目でコロナ禍の中で開催となった「鯉のぼり集中展張」は、支柱の先に疫病退散の願いを込め、青々とした杉の枝が取り付けられました。展張り後は風の影響で鯉のぼりが絡まったりすることもあるので、期間中は毎日確認しています。

〈取り組みの仲間集め〉

町内会の役員だけで作り上げるのではなく、前会長を含めた旧役員や行政の方など、約20名で協力して行っています。それぞれが地域の方々に喜んでもらいたいという強い気持ちがあり、その気持ちをひとつにして、実施しています。



〈取り組みを始めようと思ったきっかけ〉

前会長指示のもと、町内会の活動をもっと知って欲しい、活性化したいという思いと、使用せずに眠ったままの鯉のぼりをもう一度蘇らせたいという思いで企画。平成21年度に鯉のぼりを譲っていただける家庭はないか呼び掛けを行い、翌年にスタートしました。（真嶋さんは今年度から会長になりましたが、町内会には会計・体育部長・少年部長と10年以上携わっておられます。）

〈取り組みの意図〉

この取り組みを通して、年代問わず地域の方々に喜んでいただき、会話・交流のきっかけにしたいと思います。

鯉のぼりを提供された方が見に来られて自身の鯉のぼりを見つけたり、自宅の敷地内に飾れなかった方も飾る機会ができたりと、喜びの声をいただきました。近くの機能病院からも見えるので、入院中の方にも喜んでいただけたらと思っています。

また、地域の方々だけでなく地域外の方からも鯉のぼりを提供いただいたり、高校生が登下校で通ることも多いので、取り組みを知っている方が増えてきて、とても嬉しく思います。



城北3町内自治会
会長 真嶋 弘治 さん

〈今後の展望〉

鯉のぼりが随分古くなってきました。毎年町内の方に向け使わなくなった鯉のぼりを募集していますが、今後さらに継続していくためにも、町外にも募集を行っていかれたらと思っています。

使わなくなった鯉のぼりがありましたら、城北3町内自治会長の真嶋までご連絡ください。

（電話番号：090-7161-7640）